

淨寫

後務

校合

山吉

川名清

龍馬

發付

養尊

長官

次官

局長

主査

属僚

参査

村上月九日

別紙兵馬令申出ヒツトシ良降拂下可相成之砲兵附屬
品引取之我ニ既ニ客軍上ノ目在上海日ハ外務省
ヲ經由シ電令相成候モ爾後今日迄何事ナラハ
ニ至ラズ其以テ不都合ニ付口局申出之通ノ當示同
電報ヲ以テ警便方前例之通ノ口省ハ降依頼可
相成哉モ要取該仰高裁也

通第一六八四號主

小栗

英國人ビロトシニ付官省有舊砲兵附屬品ヲ拂

三百四十四

0696

下之義客年中出願致時有願意聞由右引渡
可致答う以号同く方責有る及降依頼を要
當時同之清國上海駐留之趣を付電報より以
て引取方より催促相致す旨陽面答有之を知ら
るに今同く引取を頼何事不申出被る處當省
事務整理上甚々苦悶極早々引取を極電
報より更に催促相致度地及海軍人會復
也

十一年六月三日

海軍部

外務部代理

英人ヒツマシ氏、旧砲并附属品拂下延滞
ニ義付上申

英人ヒツマシ氏、曾テ拂下致大砲之門ニ附属品共
舊砲之門拂下ケ出致付當時御達ニ對スル
當局意見ニ申上末政府、以テ諸相成陸
裁可有之付該品拂下可取計旨昨十五
年十二月普第一六八四號ニ以テ御達ニ付
達引渡可ヤト其際ヒツマシ氏、清國滯
留中今駐在羅在北由已、本年二月普第
一六八四號ニ以テ清國該氏、電報通達
方テ外務卿方ニ回答書在添内局書在付

第一六八四號ノ十一

三百五十五

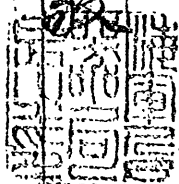


代價合算御下附ノ御下可下以得共免角派
津可取事件ト志像致以間今一報ヲ出待々未
済ノ拂品不拘前拂下之收入代價以下附
ニ義上該可仕見込付此後併ラ上申仕以
也

兵部局長

十六年六月八日

海軍中佐末川之教



海軍卿川村純義殿

三十五

重

0700

英人ジョージ・ボットマンは、捕下お成、大砲を取方、交
 付は下、同い越、押小仕、右も、此年中、同人、交、捕
 下、お、新、並、尔、後、支、那、に、其、越、下、ん、其、就、を、交、同、人、
 友、彼、も、其、い、や、と、付、控、者、に、依、新、の、こ、右、所、捕、下、新、い、通、
 申、許、可、お、制、時、に、電、信、を、以、て、上、海、に、在、ん、同、人、方、に、お、通、
 可、下、た、り、と、申、す、に、交、取、方、尚、又、下、越、可、下、越、を、其、
 依、て、先、般、申、許、可、お、申、す、即、ち、依、新、い、通、り、電、信、
 を、以、て、支、那、に、下、を、一、と、心、尔、来、河、に、報、を、其、い、と、付、
 尚、又、書、状、を、其、に、詳、細、を、其、一、右、交、取、方、に、其、り、其、
 0702

從政一書の中に於て、今以テ何に報告を爲し、如何
 に以テ之を以テ一因了解を施す事と爲す事
 只に友誼依り取扱を盡く爲す事と爲す事
 方々より上海日本領事館に通知し奉
 下回人より報告を請ふ事と爲す事
 上海に於て、切實に之を調査せしむる事
 上申仕度如し也

明治十六年五月二十日

海軍 吉岡 武

中

川路 實堂

0703

評議

校

登記

後付

長官

次官

事務課長

事務課副長

評議

起案

三月廿七日

別紙外務省申越ハトモ式當時清國滯留付電報
以通達ニ供高以見ルヤ

兵部局へ通牒例アリ

十一年二月三

普第一六八四號

三十八年

0704

ク
ビ
ツ
ト
モ

并估所傷。旧砲之所。并。

附屬、不拂下、義

國年王問同我、修直方不修

此金之類了

卷之四

中
下
局
取
成
資
久
電
報
社

中江縣志卷之四

宋王忠文公集卷之五

五世孫

[illegible]

海軍部 財政部

普第一六四號九

三百五十九

齊

100

0705

譯

海軍卿ハ舊砲其ハ 及其附屬品并既賣却セ
シ三門ノ附屬品共拂下タラシ承諾セリ代價ハ悉皆
貳千三百五拾八圓六十錢ナリ此上同ビツトモニ同様セヨ

井上

天津日領事館

品川

十二月三十一日午後四時
外務省發信



0707
0708

Shimamura

Japanese Consulate
Pientzen

1892 Complied with
request for sale of two old
Cannons with appendages
together with those of three
cannons already sold. Price
twenty three hundred fifty eight
yen and sixty sen in all.
Communicate this to Pitman
Inoué

十二月二十一日午後四時
分
外
務
省
發
信

急

清寫



校



姓名簿
登録



發行



長官



次官

事務課長

事務課副長



起案

十月十七日



別紙着砲木拂下之義太政官裁可濟付如左丈之通
可相成哉仰高裁裁也

普第一六八四號外務省ハ涉賢曹案

本年六月英國人ロンドン氏請願ニ依リ拂下着砲三門
・附屬諸品并舊砲戴門拂下之義今般更ニロ氏
引出願ハ處有ハ別紙代價書之通ニ拂下其義差
出無之其条現品金負受授之義ハ兵品局ニ為取計候
間其旨本人ハ涉傳達相成其様致度最前ノ引候

三百三

0709

以地殿及沙盤會候也

明治十五年十二月一日

海軍卿

外務卿

普第一六八號

英國人ロツシ氏ヨリ先般拂下ノ舊砲三門ニ附屬諸

品并舊砲銃門拂下之義出願ノ處普第芽九三七号及

同六八四号ニ對シ其局意見之趣モ有之候旨上請

之末今般裁可相成候條該品拂下方可取計而シテ該代

金先例之通雜收入トシテ一旦會計局ノ納付シ其所要ノ事

由ハ本年普第芽九三七号ニ通テ取調可差出此旨相違候

也

明治十五年十二月一日

海軍卿

兵器局長

普第一六八四號

先般英國人ロートマン氏は樺下ノ舊砲ノ屬スル附屬諸
品並舊砲二門、樺下ノ義尚又同氏ヨリ願出候ニ付
上請之末、今般裁可相成候ニ付テ、該品賣拂之代金
處分ニ義別紙之通、兵器局へ相幸候條、本年六月
普第九三八号ノ九幸通リ可心得此旨相幸候也
明治十五年五月一日 海軍卿
會計局長 了

三官字一

海軍省

0711

内閣書
記官局批第九四號

普第一六八四號、四

舊砲並附屬諸品賣拂之義伺

本年五月普第九三七號ノ四ヲ以テ在香港英國人ジヨン
ビットマン氏江當省不用ノ舊砲三門賣拂之儀伺出候末
御許可相成候處更ニ同氏ヨリ該砲附屬諸品並舊砲二門
及ヒ其附屬品拂下之義出願候然ルニ右附屬諸品ノ如キ
ハ全備ノ物ニ無之且ツ舊砲ノ如キモ廢砲ニシテ實用ニ
難供モ、ニ付是亦拂下ニ於テ聊カ差問無之候間右等本
人江賣拂之義御聞届相成候半ハ該代價金貳千三百五拾
八圓六拾錢ハ成規ノ通雜收入トシテ大藏省ノ納付シ更
ニ兵器補欠費トシテ御下附相成度尤普第九三七號ノ四
江御指令ノ通前後賣拂ノ諸金額ハ合セテ所要ノ事由迄

甲八五

三百五十二
四
八

0713

テ具申可致候得共前件拂下之義至急御聞届相成候様致
度此段伺出候也

明治十五年十月二日

海軍卿川村純義

太政大臣三條實美殿

伺ノ趣舊砲并附屬品賣拂ノ儀ハ聞届候代金下渡ノ儀ハ
追テ何令ノ詮議及フヘシ

明治十五年十一月十四日

太政大臣三條實美印

淨島



校令



川名簿



發月



長官



次官



事務課長



課僚

事務課副長



起案

九月廿七日



別紙兵器局上谷（並第九三三號、二第第二八四號）三舊砲及諸附屬品拂下ノ義許容相成候事如左太政官決同出可相成哉仰萬載候也

普第一

六八四號

按四

舊砲并附屬諸品之賣拂之儀同

本年九月普第九三三號以下在香港英國人言レ下ニ以只當省不用舊砲三門賣拂之義同出候未決許可相成候處更同氏可該砲附屬諸品並舊砲二門及其附屬

三百六十三

軍

八

品拂下、儀出願候然、右附屬諸品、如キハ金備ノ物、無
之且ソ舊砲、如キモ廢砲ニテ實用、難供テ付是亦
拂下、於テ聊カ差向無之候間、右等本人ハ賣拂ノ義、御聞
届相成候事、該代價金貳千三百五拾八圓六拾錢ハ成規ノ
通雜收入トシテ太監省ニ納付、更ニ兵器補欠費トシテ拂下
付相成度、右普第九三七號、四ノ冊指令、通前後賣拂ノ諸
金額ハ合セテ取要、事由追テ具申可致候得共、前件拂下之
義、至急御聞届相成候様致度、此段、白出候也
明治十五年九月二十日
海軍卿

太政大臣殿

普第一六八四號、五

當省備付舊砲、并諸附屬品賣拂ノ義、別紙之前、太
政官ハ、御出度候ニ付、會計諸儀、可致御取扱有之

度此旨及御覽會候也

明治十五年九月

大藏卿

海軍卿

三
省
海
軍
省

0717

淨寫

校合

件名簿
登録

發付

長官

次官

事務課長

事務課副長



課僚

起案

六月廿一日



別紙兵器局上各品以下之儀ハ差支無之旨付御許可相成其半ハ昨日
 附テ以テ舊砲二所拂下差支之有無ハ同局ハ拂下
 同相成其旨上各有之次中同一政府ハ拂下之
 儀拂上請可相成哉ハ先ッ以テハ之旨付御可
 相成其旨上各有之次中同一政府ハ拂下之

三百五十九號 軍、省

0718

兵一第百三十六號

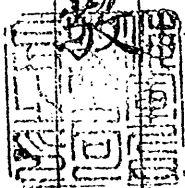
晉第九三七号、對スル上申

英國人ヒットマン氏ハ可拂下田砲と門ノ附
屬法思云々付御達之趣敬業右砲
附屬之諸思ハ金具不致其得此在来
之系ハ拂下方差支無之左代價書
記載以降上申仕也

兵器局長

十五年六月廿日

海軍中佐末川久敬



海軍卿 川村純義殿

晉第九三七号、二

三百字

置

ハ

0719

一百斤ブレッケー砲機車 金二百圓	全附屬品 金二百圓	計三百五十圓六拾六錢	六十斤ブレッケー機車 金二百圓	全附屬品 金二百圓	計三百五十圓六拾六錢	六十斤ブレッケー機車 金二百圓	全附屬品 金二百圓	計三百五十圓六拾六錢	一百斤ブレッケー砲彈 金二百圓	全 金二百圓	計四百五十圓
-------------------------	------------------	-------------------	------------------------	------------------	-------------------	------------------------	------------------	-------------------	------------------------	---------------	---------------

一 六拾斤でワケト稲彈

金回於國

一
全

實彈

五拾圓 金七拾五圓

一生

震彈

卦綱金部

計百七十四

合計金千九百七十四兩八錢

三百七



1

0721

淨寫(印)

校合

件名簿
登録(印)

發付

長官

次官(印)

事務課長

課僚

事務課副長

(印)

起案(印)
六月三日

別紙御指揮ニ基キ如左兵器局ハ照會ヲ願成哉

案番第九三七號ノ一。

今般英國人

ビツエ氏ハ可拂下舊砲三門車直臺

并ニ附屬諸品具其高以蔵有之屋急ニ可被申出

此旨及照會修也

明治廿五年六月廿二日

海軍省

兵部省長

三官海軍省

0723

御文

外臣謹言

参議兼海軍卿川村公ノ閣下白ス

頃口拙者ノ情願ヲ依許可被成下貴海軍省
ニ存在ノ鑄製旧炮ヲ清拂ヒ下ケ可被成下旨
并承実ニ閣下ノ特恩ヲ并謝シ拙者ハ速ニ右
炮ノ代價ヲ貴省兵器局ニ上納ニ奉之トス
拙者義當テ情願書中ニ右旧炮ノ車臺花ニ
附属品諸具兵器局ニ存在スル
并像スヲモ清拂ヒ下ケ
相願フトノ事ヲ掲載スルヲ落筆セリ就テ左何
卒右諸品依旧炮(三個)ニ附スル分ヲモ候セテ下

三二五九

0725

附奉之段、其代價ハ更ニ老育ノ法命令次第
其ノ下示ニ應シ定額ヲ上納シ奉ラント欲ス
右外臣ノ情願ハ徐容被成下ハ、幸是ニ至
ハ此也、ね矣

明治十一年六月二日

ビロマン五ノ叔

0726

G. Istudji nichonisi
23rd June 1882

Sir
I have the honour to express my
thanks to Your Excellency for granting
me permission to purchase the old
iron guns. I shall pay the
amount forthwith to the Store Depart-
ment of the Kaigunsho. I beg
to state further that I omitted in
my former application to ask Your
Excellency to be allowed to purchase
in addition such old carriages
and appurtenances as are in
store, and belong to these guns.

His Excellency

Admiral Kawamura

Sangi & & &

Minister of Navy

0727

長官

次官

事務課長
調僚

淨寫

校合

登
録
件名簿
島

發付

Therefore, I would ask Your Excellency
to allow me to purchase such old
appurtenances as belong to the
three guns, and I will pay in
addition whatever value the
store department affixes to them.

I have the honour to be,

Your Excellency's

Most obedient servant

Chun Kituan

淨寫

校合

件名簿
登錄

發付

長官

次官

事務課長

事務課副長

調僚

起案

六月廿一日

お防支隊官の指令之趣
計西局に防支隊の
仰為裁可

普第九三七號

本年四月廿五日
舊砲三門拂下之
之趣了
以上清
中、下拂下、象現
不金員受授
兵器局

三

0729

海軍省

計 此旨有本は中治造の如成む各門代價之類を
記し通す有之此旨有本等より高方なる受入會社に
明治五年六月廿二日 海軍省

外務卿 アテ

百斤フレスケリ 砲 九千二百六十二斤

此代價 三百七拾四拾四錢

銃製六十斤三條砲 七千九百七十五斤

此代價 三百拾九圓

六十斤エツケリ 砲 五千五百六十七斤

此代價 貳百廿貳圓六拾八錢

合計 金九百拾貳圓拾貳錢

第九三七號 海軍省 出納案

前項、同レイ、累々

當者舊大砲
船者ヲ經而出願
許曰、おぬぬニ付、
ハ、ハ、ハ、申出、大
ト方、ハ、ハ、ハ、
而シ

金銀ハ追テ補入、費トシテ、當者定額金ハ増加シ、
儀上請、ハ、故、係、誤、金額、更、需用、事、由、爲、
ト、取、調、早々、可、被、由、出、此、旨、ハ、甘、杜、ハ、
明治十五年六月廿二日
海軍部

兵部局長
ア、ア、

會計局、御、道、安、

三、百、七、十、一、

0731
0732

國史館
明治十五年

先般在馬電英國人即下之者當有舊欠砲
不用之爲分拂下之我外務省ヲ徑而出願
其付政府及上清其來拂許可也此付
署軍四月兵甲中百四号ハヲ以テ申出大
砲中九號ノ分同此ハ拂下方ヲ願
テ該代金ハ難收入ト一旦會計局ハ系納在
金銀ハ追テ補入費トテ其旨留定額金ハ增加之
儀上請テ收其条該金額更需用ノ事由爲
ト取該早々可被由出此旨也此也
明治十五年二月廿二日 海軍省

兵部省局長

會計局御道案

三百五十五

0731
0732

普第九三七號

海軍省通

英國人ヒツトシキハ舊砲拂下と稱し付政府に乃上
請其未済之角一滞指令有之其地分一該砲賣
拂金兵器局に難收入し其局に可相納者相違
置其系大抵者ハ此と成規に因る故也尤該
金額ハ此兵器神元費トし而省定額金に増
加之系出積之收等ハ此系ハ心得者あり故也

明治十五年六月廿三日

海軍卿

會計局長 アテ

0733

笑昭天

代價總計金千二百五拾四圓八拾四錢也

三省軍省

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

兵甲部百四号八 附属

矢多焚

礮	鐵製砲	百斤ブレッケー砲	鐵製六十斤三條砲	六十斤ブレッケー砲	鐵製滑膛砲	鐵製砲	同	同	同
名	員	同	同	同	同	同	貳	門	門
數	英	斤	量	代	價	同	同	同	同
五千五百五十七斤	貳百廿四拾八錢	九千二百六十三斤	三百七拾四拾四錢	七千九百七十五斤	三百拾九圓	六千〇三十一斤	貳百四拾壹圓四錢	五千五百六十七斤	貳百廿四拾六錢
二千〇〇六斤	八拾四圓四錢	千五百〇一斤	六拾四圓四錢	千四百九十一斤	五拾九圓四錢	千九百八十二斤	七拾九圓八錢	同	同

代價總計金千二百五拾四圓八拾四錢也

三百五十一海軍省

0734
0735

内閣書批第四九號

普第九三七號ノ四

鐵製舊砲賣拂ノ儀ニ付伺

今般在香港英國人ピットマン氏ヨリ當省鐵製舊砲不用
ニ属スル分三門拂下ノ義外務省へ及出願候趣ヲ以テ同
省ヨリ當省へ照會相成候其主意ニハ同氏ハ曩キニ大藏
省奉職ノ者ニシテ解職後現時香港ニ在留シ御交際上ニ
関シ裨益モ不尠者ニ付特別ヲ以テ此際舊砲三門同氏ハ
拂下相成度旨縷々陳述ノ趣モ有之候間特別ノ御詮議ヲ
以テ右砲拂下ノ義御聞届相成度候元來當省ニ於テハ右
砲拂下ノ義ニ付テハ同氏へ豫約セシ事等ハ無之且ツ先
般舊砲拂下ノ儀伺出候節難聞届旨御指令モ有之候義ニ
ハ候得共前陳外務省ヨリ照會ノ事情有之不得止再度伺

甲三二

三百七十三

四

五

六

0736

出候次第ニ有之候随テ右拂下ノ儀御許可相成候上ハ該
代金九百拾貳圓拾貳錢ヲ一旦雜收入トシ大藏省ニ對シ
証書受納ノ手順致シ更ニ欠資トシ當省本年度經費増額
トシテ御下附相成度尤自今増額不相成旨過般御達ノ趣
モ有之候得共此際特別ノ御詮議ヲ以テ御許可相成度此
段伺出候也

明治十五年五月廿三日

海軍卿川村純義

太政大臣三條實美殿

追テ本件ハ差迫リ候事情有之旨ニ付至急御裁可相成
度此段副申候也

伺ノ趣舊砲拂下ノ儀ハ聞届候條賣拂代ハ大藏省ニ納付
シ該金額更ニ需用ノ儀ハ其要スル事由ヲ具シ伺出ヘレ

明治十五年六月十九日

太政大臣
三條實美印

0737

大至急

淨島

校令

八島

附名簿
登録

八島

發付
八島

長官

事務課長

同 副長

水鏡

同課僚

起

案提

九月廿二日

お席外務省變遷と趣き及官市上請案仰高裁取

也

按

普第九三七號

鉄製舊砲賣却之儀三付同

今般在香港英國人ロットン氏より富省鉄製旧砲

三百五十四

0738

不用、屬るは三門拂下之義外務省に及出願其趣
ヲ以同省より當省に照會相成其互立思三同以に長キ
大藏省奉職者ニ解職後現時香港に在留し佛
交際上関し裨益不尠者存特別に以除旧砲三門
同以拂下相成度旨儘に陳述趣有之其間特別
所詮議より右砲拂下義中同局相成度候之来當
省に於て右砲拂下之義に付て同以に豫約セし事等一
無之且つ先般旧砲拂下之儀同出並節難字一由

旨仰指令之有茲茲之在得共前陳外務省署覽會

事情有之不得止再度伺出茲次第有之在隨之在拂

下ノ係仰新ノ由成其上一部代入是九百拾二拾二文^城且納收ノ上之在茲省覽

欠資^下之當省本年年度經費增額^下之在附

尤自今增額不相成旨思般仰達^下之在^{有之在}

際特別之仰詮議^下之在仰許可相成度此段仰出

明治十九年五月廿三日

海軍

太政大臣

三百五十五

0740
0741

旨仰指令有之致致と心得共前陳外務省 照會

事情有之不得止再度伺出此次第有之致隨テ右拂

下ノ儀仰許の如成此上ノ致ヤ一ニ 器神

欠資トシ當省 情察 下附相成度

尤自今情額不相成旨思般仰達テ越有之致得此

際特別之仰詮儀ラテ仰許可相成度此後伺出此

明治廿五年 五月廿三日

海軍 卿

太政大臣

三百五

0740
0741

0742

指令有之我我之在得共前陳外務省司照會

附有之不得止再度伺出我次第有之我隨手右拂

所許の事成上に該代金九百拾五圓に其額全に之を名宛に寄附せし事

當省本年年度経費増額に涉下附相成度

今増額不相成旨四般に達し趣有之我得共此

別之附註欄に於て所許の相成度此段に於て

九月廿三日 海軍 卿

太政大臣

三百五十五

0742

0740
0741

後軍

追々本件ハ差迫リ世事情有上旨至急申裁可

相成度此以副申裁可

大坂省の買合案

普第九三七號

當者兵器弓備付旧砲不用ニ属スル分三門ハ販賣

拂ノ上該代金ハ當者本年度経費ニ撥充スル

此際ハ帝ノ通太政官上清乃知海軍會計法

法ヲ以テ海軍會計法ニ準ジテ

十九年五月廿三日

海軍卿

0743

大藏卿 アテ

外務省品道知事

通第九三二號

ヒトトモ白大袍拂下あり存置付ニテノ意ハ其

會ニ被了業由右拂下致太政官上清

ヲ以テ大藏卿ナリ申通其条由而裁定ニ事次

何分し西子ニ改定ハ所取地ハ乃何道知

十五年九月廿三日

海軍卿

外務卿 アテ

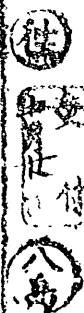
三番

0744

[illegible]

0745

三十九回ノ二



兵馬の備付は決裂の砲三つを拂ひし事
中任業の無用を以てし其の事を知る
為に之ハ其の事を知るに其の事を知る
其の事を知るに其の事を知る

其の事を知るに其の事を知る

其の事を知るに其の事を知る

第九三七號ノ二

三百五十七頁

0746

[illegible]

三

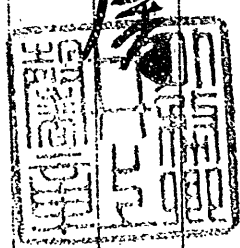
0747

書性亦二年

在るは漢人にして三氏書に有る一見
政は古大宛に於て授けられたるに
テトは古大宛に於て授けられたるに
授けられたるに授けられたるに
授けられたるに授けられたるに
授けられたるに授けられたるに
授けられたるに授けられたるに

の字も四つある

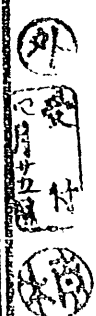
外務部井上成



海軍少佐川村純義殿

普第九三七號

三十一
八
務
少



0748

ブレイキリー松隆記

九千三百七十一頁

ウラルブ松隆記

七千九百五十五頁

ブレイキリー松隆記

五千四百七十七頁

0749



發射



長官

審判

同
副長

起

案
堤

事務課長

同訓傳



不命故入雲計曰此雲雲雲

普第九三七別

古

兵者爲什自鐵制衣篇三
一、唐排上後人

代金ヲ雜收入
ニ於テ是ノ本年
終ニ至ル

腹云々、新お市、由里、上清、四美、會、乙

東坡先生詩集卷之四

張氏

五年正月十七日奉 聖旨

今
年
四
月
三
日
九
日
准

兵一第貳 百番

普第一六八四号ノニ對スル上申

英國人ピットマン氏ヨリ旧砲貳門拂下之義奉人
呼出ニ問合セ候處石砲之内壹門ハ六十四介
バ、シエール砲ニテえ竜驤艦ニ備附ミ砲砲壹門
ハ四十介ブッケーリ砲ニテ旧來當高ニ貯藏ミ
砲砲ニテ何レモ實用ニ難供砲ニ付拂下候テモ
差支無之代價ハ別紙ニテ通り有之且此代
價ハ先般同ノ松下相成候三門之代價同
様當高ニ御下附之事ニ相成度矣段上申
仕候也

十五年九月廿五日

普第一六八四號ノ三

三百

臣

八

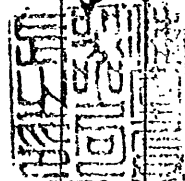
姓
名
受
付
人
島

0751

兵器局長

海軍中佐末川久敬

海軍卿川村純義殿



0752

一 六十四斤バ、シール砲

吉門

重量六千一百八十八斤

計價八百六十六円三十二銭

一 全四輪架車

吉臺

代價百円

附属品

一 洗帚杖

貳本

一 火螺杖

壹本

一 撞藥杖

壹本

一 木手挺

四本

一 火門錐

壹本

一 火門針

壹本

三百

好

軍

分

0753

海軍省

一火管索

貳筋

一火管蓋

壹個

一藥囊蓋

貳個

一砲口栓

壹個

一扭囊

壹個

一側索

貳筋

一後索

壹筋

一通常榴彈

壹個

計價四十二円二十八錢

惣計千。八圓六十錢

0754

一火門針	一火門錐	一木手杖	一撞藥杖	一火螺杖	一洗帚杖	代價百円 附屬品	一全四輪架車	計價百七円貳十八錢	重量貳千六百八十二斤	一前装四十斤ブレッケレー砲
貳本	貳本	四本	貳本	貳本	貳本		貳臺			吉門

三
五
五
八
百

0755

一火管索

貳筋

一火管盒

壹個

一藥囊盒

貳個

一砲口栓

壹個

一捆囊

壹個

一側索

貳筋

一後索

壹筋

一實彈

壹個

一通常榴彈

壹個

計價四十四圓七十四錢

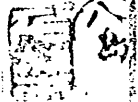
惣計二百五十二圓二錢

0756

至急

淨寫圖

校令



計名簿

録名

ノ名

ノ名

長官

次官

事務課長

課長

班



別紙之題 兵器局、御覽會案、仰高、被也

普第一六八號、二力案

英國人、ロット、三、以、古、舊、砲、二、門、拂、下、儀、別、紙、

通、申、出、其、其、弓、賣、拂、差、支、有、魚、及、代、價、

至、急、可、被、申、出、此、旨、及、照、入、會、也、

明治十五年二月廿九日 海軍部

兵器局長

三、五、三、海、軍、省

0757

譯文

参議兼海軍卿 川村 閣下ニ白ス

陸軍省
大藏省
文部省
逓信省
農商務省
司法省
内務省
外務省
海軍省
文書省

性者至偶然 貴海軍省古構内乾行鑑、向ヒ第一第二
砲庫、間ニ存在セル旧銃大砲武門ヲ并見セリ就テハ
何卒 閣下ノ特旨ヲ以テ石田砲光ニ附屬品（先有ニ存
在セル）此方ニ拂品被裁下ル、幸甚、至ニ存在
尤代價先者ノ法命令ニ従ヒお納メ可申也 拜具

明治十五年八月十八日

普第一六八四號

ニテハ

ジョージ・ピットマン
領首

0758

G Iskudji nichomi

28th June 1882

Sir,

I find there are two other old guns lying outside between Nos 1 & 2 godowns opposite the "Ken Ko-kan", which I have the honour to beg Your Excellency to allow me to purchase, as well as any appurtenances belonging to them which the Kaigunsho can spare.

I will pay the Kaigunsho whatever value they place on the above.

I have the honour to be

Yours Excellency

Admiral Kawamura

Sangi G. G. G.

Minister of Marine

G. G. G.

Sir,

Your most obedient servant

John P. Brown